

主索ウインチ付きスイングヤーダ

南星機械の新スイングヤーダは集材作業を簡単・安全・効率的にします。新開発の3胴ウインチでパワフルに集材できます。



特長

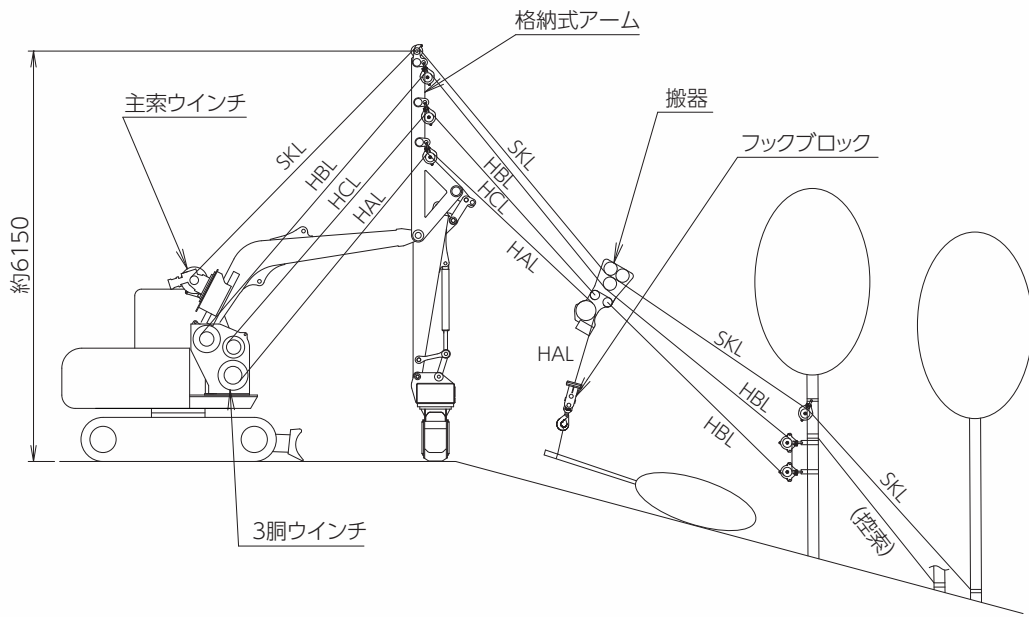
- ①主索ウインチで安定した集材を可能にします。
主索を張ることで木の重量を支えますので、集材時でも搬器の高さが下がりにくく、横取り時の搬器の振れ幅も小さいです。
- ②3胴ウインチで集材作業をより効率的に行えます。
新開発の3胴ウインチで、搬器とフックブロックを自在に操作できますので、横取り作業を簡単にし、地形に合わせた集材作業が可能です。
- ③格納式アームでショベルの転倒を効果的に防ぎます。
元柱用格納式アームは、フリートアングルが充分確保でき、ワイヤロープ乱巻を減少させます。また、高い位置に第一滑車が取れる為、作業効率が向上します。
- ④繊維ロープで労働負荷・危険を低減します。
ワイヤロープに比べて繊維ロープは重量が約1/6と軽いため、架設作業や横取り作業がとても楽です。材質も柔らかいため、ワイヤロープのように素線で怪我をしたり、衣服をひっかける心配もありません。

3胴ウインチ IW-23DY				
		ホールライン	ホールバックライン	ホールキャレージライン
		HAL	HBL	HCL
最大直引き力	素巻	23.0kN(2350kgf)	14.2kN(1450kgf)	14.2kN(1450kgf)
最大速度	満巻	84m/min	106m/min	90m/min
ロープ巻代		φ10×130m	φ8×220m	φ8×110m
質 量		約700kg		

主索ウインチ W-21DY	
最大直引き力	20.0kN(2040kgf)
最大速度	37m/min
ロープ巻代	φ12×120m
質 量	約200kg

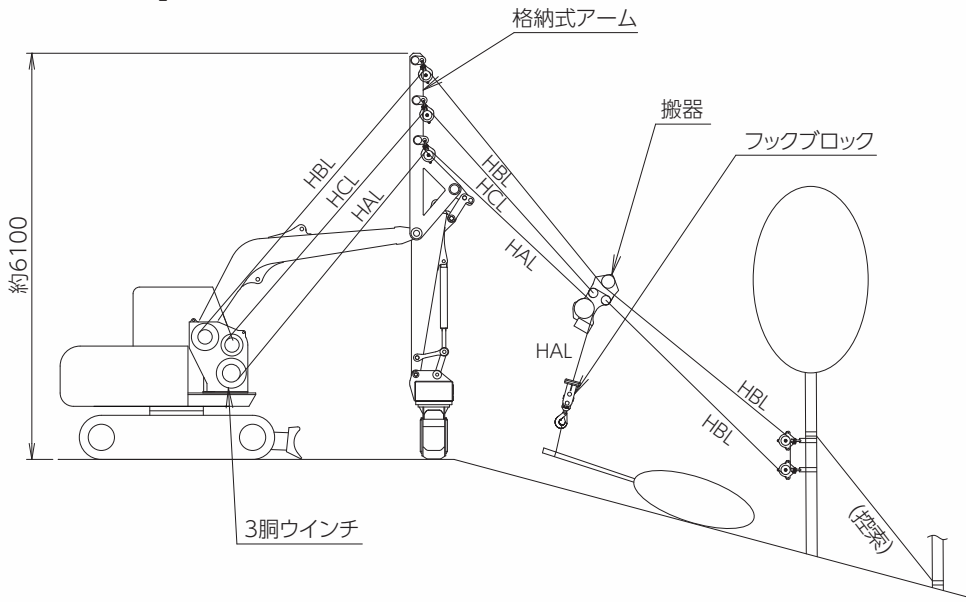
主索ウインチ付きスイングヤーダ

[設置・基本索張り図]



3胴ウインチ式スイングヤーダ (主索ウインチなしの場合)

[設置・基本索張り図]



特長

2胴スイングヤーダと比較して、HCL（ホールキャレージライン）を設けたことで係留器具等なしに搬器を任意の位置で保持することが出来て、そのままの横取りが可能となりました。またHALを巻出した状態で搬器を移動させることが出来るため、横取り方向の調整も可能となりました。
地引きの能力を見ると、上げ荷インターロック運転時にはHCLがHBLのバックテンションを相殺するため、HALの力をそのまま集材に利用出来ることになり、地引力はアップします。